CMC接近・接触センサー

特徴

◆センサー素子は柔軟な材料（シリコーンゴム等）でできています。
◆センサー素子は目的に応じ、任意の寸法、形状に加工できます。
◆物体の接近状態から接触（圧力）状態を単一の素子で検知できます。
◆全方位の距離検知がリアルタイムで可能です。

接近・接触センサー素子シート（皮膚型）

用途

◆開閉ドア、回転ドア、エレベーター等の安全対策技術の向上に
◆進入検知、接触検知等セキュリティー技術の向上に
◆人間とロボットの安全・安心な共存に
◆福祉・介護ロボット等民生ロボットの安全対策技術の向上に

用途例1　自動ドアの挟込防止用センサー（SDIPセンサー）

自動ドア、回転ドアに接近・接触センサーを装着すれば、こども、大人、身障者等、背丈、動作に関らずドア接触前に安全・安心に動作停止が行えます。

赤線がセンサー装着部位

用途例2　ロボットの皮膚型センサー

人間と共存する各種の民生ロボットの安全制御に最適です。ロボットアームの回転、ロボットの走行時に人間への衝突事故を未然に回避できます。また、ロボットの各部の形状・寸法に合わせ、ロボット表面に皮膚のように容易に取付け可能です。また、ロボットに触れたときの触れ具合により様々なリアクションを持たせることが可能になります。

■がセンサー装着部位
（どこにでも取付可能）

〒509-0109　岐阜県各務原市テクノプラザ1丁目1番地
シーエムシー技術開発株式会社
TEL：058-379-0686　FAX：058-379-0688　http://www.cmctd.co.jp/　email：info@cmctd.co.jp